



木材造形科のろくろ実習の様子です。
南木曾ろくろの職人さんを講師に迎え、10月23日から始まりました。



シュルシュルと音をたてながら、形が変わっていく様はとても面白く、いつまでも見ていられそうです。
訓練が進むにつれ、訓練生の挽く木工品の難易度が上がっていました。



挽いた木地をろくろに取り付け、回転させながら紙やすりをかけて木地表面を整えています。



使用する道具の鍛冶も、講師の指導のもと訓練生が行います。
炭で熱した刃をハンマーで叩いて形成し、グラインダーで磨きます。



ろくろ実習と共に、ろくろ実習に参加しない訓練生の旋盤講習も行われました。機械のセッティングや使用方法など、2人ずつ講師から指導を受けるので、質問がしやすいですね。



旋盤を使用して椅子の脚を製作しているところです。



ろくろ実習は11月17日、講評会を行い終了しました。卓上に並んだろくろ製品に胸が躍ります。一人ひとり、お気に入りの製品やこだわったポイントなど発表しました。



課題で二枚組のお皿やお盆も製作していました。難易度が高く、苦戦したようです。蓋付きの製品もとても難しそうですが、きれいに仕上がっており、訓練の成果が出ていました。ご指導くださった講師の方々ありがとうございました。